

三浦外洋セーリングクラブ理事会議事録

開催日：2019年5月14日（水）18:00～18:50

場 所：東京都港区新橋 2-20-15 新橋駅前ビル 1 号館 6 階 609 号室

出席者：理 事：飯島、伊藤、尾山、黒岩、児玉、羽柴、才藤、坂口、庄野、関根、外山、
藤田、小板橋、北川、平松、三輪

監 事：藤田、望月

顧 問：大谷

出席 理事16名 監事2名 顧問1名

欠席者：理 事：新通、小川、星野

（敬称略）

庄野会長が議長となり、議事録作成人に坂口理事、同署名人に児玉理事を指名して、下記議案につき審議した。

■ 報告事項

1. 事業年度変更に係る JSAF への相談結果（庄野理事）

事業年度変更に関わる相談を JSAF に行った結果、問題無いことが確認された。JSAF から補助金を受け取っている団体のみ事業年度の月をそろえたほうが処理がしやすいというお話もあったが、当クラブは該当しないため、決算時期の3月から12月への変更に必要な処理を進めることが報告された。

2. ミドルボート選手権報告（外山理事）

今年、関東ミドルボート選手権は第31回目にあたり、去年は悪天候のため最終日のみの実施だったが、今年は途中、微風や雷雨などの天候不順もあったが、5月3日から5日までの3日間 1-2-1 の4レースで、ケースが1件のみ発生したが、大きなトラブルも無く実施することができた。また、5月5日は新元号となる令和元年を記念したオープンヨットレースも別コースで実施し、18艇が参加して、無事終了したことが報告された。

■ その他

1. 総会案内に文書の送付の必要性について（事務局）

現在、総会案内発送時に総会文書を一緒に送付しているが、印刷に二日、袋詰めに一日かけており、さらに費用面でも今後消費税と郵便代が上がることを考慮すると、往復はがきに変更したいとの動議が出された。総会文書内容に関しては、Web に掲示したも

のをご覧いただき、文書が必要な方は往復はがきの返送時にチェックいただく欄を作る処理を行い対応することが報告され、続いて開催される総会にも動議として上程することが承認された。

2. 基金運営委員会（外山理事）

基金運営委員会の第1回ミーティングが2019年5月7日に実施され、三浦OSC主催の外洋レース「小網代カップ」と「トランスサガミヨットレース」の2レースを対象として協議を行い、事故が発生した場合の基金運営委員会のスタンスとして、当該レース委員会の「危機管理チーム」の対応と連動して行うことを原則とし、事故発生により「基金」からの費用捻出が必要になった際には、「合議制」で対応することなどが話し合われ、他のレース、他クラブ主催のレース、クルージング等での当クラブ会員の参加による事故対応なども含めて今後の継続課題とし、よりスピーディーで納得性のある対応策を協議していくことが報告された。

3. トランスサガミヨットレースと石廊崎レースの共同主催依頼（飯島理事）

毎年恒例のトランスサガミと石廊崎レースのリビエラからの共同主催依頼に関し、異議無く承認された。

以 上

2019年 月 日

議事録署名人